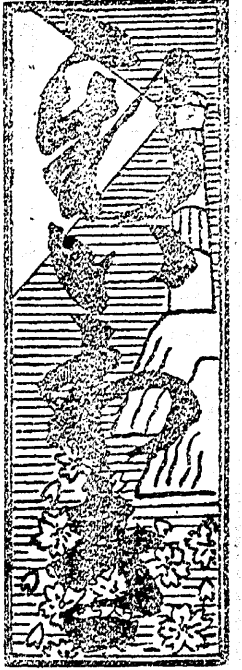


刊夕 日六十二月七



### 来てゐる渡されぬ 家庭への砂糖配給

#### 不親切に需要側大不平

平市地方に於ける砂糖配給の切符制は六月後半からの実施に各家庭を喜ばしてゐたところ以後の配給が少しくなく、為めまた不平を買つてゐる。しかも未だ配給から配給されぬと云ふ小賣商と砂糖はるが切符が行き渡らないので賣れず居ると云ふ小賣商とがあり、需要側を迷はしてゐるので市役所では今廿六日御商の百澤商店を質したところ砂糖は來てるが配給手續きが出來ないからまだ渡ぬと稱す。

### 閑着を時代が解決 中の作港擴張工事

#### 部民の望みが叶つて申請中

#### 市場設置の岸壁は廢止

江名町中の作港は昭和七年修築工の當初同港が大字中の作、折戸の兩區に亘るため船溜場の位置争ひが生じ岸壁に添ふて残る兩大字中央の磯磯堀を後廻しとなし中の作及び折戸の兩地區内に船溜場を設けて今日に至つたが年と共に漁船を増加する時代がこれを解決して既往の反目から兩者の提携に轉じ豫て縣土木當局に設計されてゐる提唱に従ひ前記の岩礁面積約一千五百坪を干潮時深さ三米に掘鑿し港の入口に於ける東防波

支那語 支那語は海關在那兒と稱してハイクアンツァイナルと呼び、僕の荷物をしらべて下さると云ふをば、我が的的行動でインクインウオデシリリーと唱へる。

支那語 支那語は海關在那兒と稱してハイクアンツァイナルと呼び、僕の荷物をしらべて下さると云ふをば、我が的的行動でインクインウオデシリリーと唱へる。

### 大暑の作況

#### 稲麥共に良好

農試石城分場の調査する大暑作況、水稲は七月上旬まで一坪三十四丁、で六萬七千五百圓、防波堤延長二萬二千五百圓(以上)

### 閑地荒蕪地利用の

#### そば増産報國栽培

#### 反當廿六圓の助成と種子交付

縣では戦時食糧政策の一環に蕎麥増産計畫を樹て荒蕪地及び空閑地に未墾地等を利用して同栽培報國に邁進することとなつた。この耕作見込み地は全縣下に於て百五十町歩右に對して開墾には一反歩平均三十六圓の助成金と反當種子五升を無償交付し收穫は政府に於て敵正價格を以て買ひ上げる。經營主体は市町村、

### 戦地の便り

#### 大小卅數回の戦闘

#### 三回の感状を頂戴

正月に入るとよく、武運のある部隊と見えて一月一日は蒲昌(高原地帯)の激戦の正月一日は戦國の大原野に甘テ師の敵と合戦、正月の雞煮餅の代りに敵のヒ

### 烏奥地〇〇附近に椰子の

#### 計をすゝめるなど文字通りの

計をすゝめるなど文字通りの戦闘いたしました。當部隊は本三作戦に於て軍司令部から感状と〇〇司令官より表彰状を頂戴いたしました。戦の終〇〇附近にあつて警備につき後援調査その他の爲め連日夜半までの仕事がつきつき暇なく途々思ひながら御無沙汰勝ちなりまして誠に恐縮に存じ居ります。パイナス灣上陸以來大加し所屬隊として一回、部隊として二回計三回の感状を頂戴、なほ未だ一度も病味についた事もなく相變らず元氣に振切つて御奉公出陣得ます事は偏に戦後皆様の心からなる御懇情の賜と深く感謝しつゝ、連日猛訓練に終始し「かぶとの緒をしめて」居ります。去る三月中尉に進級最近大命により〇隊長に補せられ目下元氣溢然下部と共に益々旺盛に軍務に精勵して居ります。向島の折柄皆様の御健康

### 四市對抗野球

#### 縣下四ヶ市役員對抗野球戦は

縣下四ヶ市役員對抗野球戦は明後二十八日午前八時から平商業學校に於て催されるが昨年は郡山市に惜敗した平市が雪辱の意氣に燃えてゐるので戦績を興味視されてゐる

### 拾得金を寄附

湯本町の三浦佐古直貞氏は昨年夏金四十圓三十圓を拾得届出で中のある遺失者なく拾得者に渡され該金を其まゝ刑事協會平支部に寄附した

### 紙屑の中から四

百圓の事變國債 平市材木町古物商半島人濱田芳男さんは市内から買ひ集めた紙屑を整理したところハートロン紙に包まれた昨年發行の

### 果菜下値向き

市況は畑作物が好天候に恵まれて出廻盛期を見一般に下落を辿つてゐるがなほ好天候が緩げば下値向きを見る事と思はれる

### 今日の果菜市況

高値 低値 玉(菜)一貫 〇〇〇〇 〇〇〇〇 胡瓜(十貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 茄子(一貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 馬鈴薯(一貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 ナタ豆(一貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 玉葱(一貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 葱(十把) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 南瓜(一貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 トマト(一貫) 〇〇〇〇 〇〇〇〇

### 廿日納涼音楽會

小名濱小學校に於ては来る三

### 磐女の勤勞奉仕

磐城高女では夏休の勤勞奉仕に去る二十一日から二十四日まで、二年生が家庭整理をなし、四年の全生は二十五日から代つて同作業をなす

### 平商のキヤンプ

平商業學校では去る二十四日から二泊の予定で三年生を下山田教諭引率で江名方面、五年生は中村教諭引率で豊岡方面にキヤンプをなす

### 漁業改善講習

濱三郡沿岸漁業經營改善講習會は明二十七日から二日間各關係船主を集めて開催するが講師は馬場政二氏である

### 新興ダイヤペン付

ウエル萬年筆 二、〇〇〇以上

### 代理店

魁文堂 電話三一三

### 精神國民百人一首

白沙村 人編

### 西郷、隆盛

説明要せざるべし、

### 木下長嘯子

名は勝俊、若欲椿に任ず、東山にかくれ長嘯子と號す 慶長元和のころ文選未だ開けざりし頃哉詩多く藤原

### 熊澤 春山

伯繼、尾張の人、通稱次郎八、後助右門と改む、了介とも號す、備前侯に仕へ三石を給ふ、白晝提灯を携へて登城せるより勘氣に觸れ、去つて明石藩に抱へらる、幕政を駁撃し撃せられ元祿四年下總古河にて終る、歐梓朝日記の脚澤次良左衛門なりと傳へらる、藤樹先生に國明學を修めよく其志を傳ふ、江州栗原の 春山堂に祀らる。

### 高もしばし 供養せり、

おしむ日もや、くれ竹のともし 火は代々の玉づなほ照らせとも

### 保己一

武州兒玉郡木野村の人、盲目なれども博聞強記、會て門人を集め書を講せしが風吹き來り燈を消したり門人等あわて騒げるに「さてさて目あきは不自由なるものかな」と云ひしことは通人に知られたり、皇朝の古書を涉獵し幕府に召されて和學所を起し群書類六百六十卷を著せり、

### 山々はまた夜をこす雲上

山々はまた夜をこす雲上 ひとりあけゆく雪のふじの根

### 伯繼、尾張の人、通稱次郎八、後助右門と改む、了介とも號す、備前侯に仕へ三石を給ふ、白晝提灯を携へて登城せるより勘氣に觸れ、去つて明石藩に抱へらる、幕政を駁撃し撃せられ元祿四年下總古河にて終る、歐梓朝日記の脚澤次良左衛門なりと傳へらる、藤樹先生に國明學を修めよく其志を傳ふ、江州栗原の 春山堂に祀らる。

つたへ來て春はむかしにかはらねど 人のこころのむかしにも似ぬ

# 農業方面

## 水耕栽培 (下)

春日井博士の研究が實用へ一歩前進  
 空気が注入は思ひついて見れば極めて単純でなんの新方法ぞやと輕視されそうなことがあるが養分と作物のみに氣をとられてゐる簡單なことが長年の間頭を浮んで來なかつたもので、

▲今となつて思ひ合せるとなるほど水液を半分減らして見たらのが割合に好成绩であつたのはこのことの暗示であつたのかと膝を叩いて喜んだと云ふ樂屋打ち掛け話もあるのである、それに今一つ、この研究の大衆化への可能性は一般土壌作物の場合に施用する硫酸とか燐酸とかをそのまま水耕液に用ひて大部のものに行はれることになつたことである、

従來の養液は化學藥品のみ使用してゐたので實際栽培の隔りもあつたが空氣を余り必要としない水耕液において一般肥料で作つた養液についてすでに實驗成績を得てゐるので今度の空氣注入に際して養液も一般肥料で大丈夫と確信されるに至つたのは特筆に値するものである、

學部裏の農場には特別扱ひを受ける「メロンの家」をはじめその作物の性状に適した水耕栽培のポットが並べられ、その各々に瓦斯管の如き装置で空氣送管が施され動力室から送る空氣がポットに注ぐ場合はゴム管で繋いだサイフォン

によつてその欲する量、欲する時間に自由に行はれる装置になつてをり盛夏から秋への收穫如何をあくまで期待されてゐる(完り)

### スペイン GHN 元詰

## ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平二) 西村屋薬舗 (電三)



附屬産院 新設  
 妊産婦入院隨意  
 産科 婦人科  
**木村病院**  
 平市新川町  
 電話一六四番

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科  
 診療時間 午前八時より 午後九時まで  
**江尻醫院**  
 醫學博士 江尻伊三郎  
 平市田町電話六九一番

助腹氣管又關節痛 淋病 尿道炎 口イマチス  
 淋病 淋菌性關節炎 淋菌性尿道炎 淋菌性膀胱炎  
**生公華**  
 九十五番 二四二番  
 山野邊藥局  
 新治 六〇七 號

お醤油は ヤマフル  
 醤油、味噌、たひら正宗、節約食料品  
**山崎合名會社**  
 明治生命警城代理店 山崎與三郎  
 電話 本業部二七〇番 分店二七〇番

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科  
 平市田町 電話五二三番  
**高久病院**  
 院長 醫學士 高久忠

病室増築、手術室完備  
 産科 醫學博士  
**五十嵐雄二**  
 婦人科  
 平市新川町一電話三六九番一

眞砂屋  
 眞砂屋  
 眞砂屋  
 眞砂屋

便利で 經濟な 日下家政婦會の 派出婦を御利用下さい  
 身元確かで品行方正です。何をお任せしても安心です。  
 平市二丁目三十一番地(電話七二三番)  
**日下家政婦會**  
 會長 日下すい子

**平病院** (平市元共済病院跡) (電話六四一) 院主 醫學博士 鈴木定藏  
 内科 院長 鈴木定藏  
 小兒科 院長 鈴木定藏  
 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸  
 レントゲン科 院長 鈴木定藏  
 物理療法科 院長 鈴木定藏  
 藥劑科 部長 吉本孝平  
 診療時間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診療に從事す(急患は此の限りにあらず)

カバン洋品類  
  
**眞砂屋** (平市新道前) (電話五六)

男女 車掌募集 數名  
 年齢 16—19  
 未経験者ニテモ可 給料其他委細面談  
 平市駅前  
**野崎交通自動車株式會社**  
 電話三四〇・三四三  
 債券、公債、両替、金融  
**多田井質店**  
 平市大工町 電話五九一